

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

8

August
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友 やまがた



第51回定時総会in東京
(左から)東京都知事 小池百合子氏・中同協会長 広浜泰久氏・記念講演講師 (株)吉村 代表取締役社長 橋本久美子氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

同友会理念の総合実践で 持続可能な未来を築こう



7月4～5日、中同協第51回定時総会が東京で開催されました。本総会には、全国47同友会から1,762名が参加し、山形からは13名が参加しました。

参加された方々の報告が寄せられましたので紹介します。

(株)ディスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋

新宿で開催された今回の総会は、記念すべき50周年ということもあり活気に満ちたものでした。広浜会長のご挨拶からも、この50年の間に先輩会員の努力と先見性によって注目される団体になってきていることが実感できました。

分科会は第1分科会を選択し、情勢認識を学びました。テーマは「日本は、地域はどうなる！？ 転換期における中小企業の役割は？」講師は日本総合研究所の藻谷浩介さんでした。内容としては里山資本主義とマネー資本主義の違いから始まりました。マネー資本主義は「今だけ・金だけ・自分だけ」で行くことで持続可能性が低いのが特徴であり、里山資本主義は「自社や社会が長持ちすること・多様なものがあること・次世代に続くこと」を重視することによる、里山的な共生と循環再生のある持続可能な経済であるとお話されていました。戦後の市場原理主義はマネー原理主義ではなかったのかなと個人的には感じたところであり、今後の経営は里山資本主義の発想が重要であることを痛感しました。

また、日本人の多くが持っている世界観は果たして正しいのか？という問いかけがあり、実際の日本の世界での立ち位置を客観的事実に基づく実データで示していただきました。人類の多くに共通した世界観を「共同主観」といい、皆が信じるが、そういった正しいのかもわからないイメージだけで経営判断を行うことは非常に危険なことであるという問題提起もいただきました。

客観的事実に基づく絶対数値の正しい認識による分析の重要性と、実データからの今後の企業経営における勘所をつかむことのできた素晴らしい講演でした。この内容はぜひ皆様にも共有したい内容ですのでパワーポイントのデータをいただけてきました。欲しい方は事務局までお問い合わせください。

また、そのあとの懇親会も盛り上がり、その後の二次会での各分科会で学んだ内容の共有により、さらに全国行事の感動を大きなものにする事ができました。

翌日の記念式典も中小企業家同友会の今後の重要な役割を認識することができました。記念公演は一度山形にも来ていただいた、株式会社吉村の橋本社長のご講演で、差別化戦略と労使見解をベースにした理念経営の実践による、人間尊重の経営を学ばせていただきました。非常に実り多き二日間となりました。



㈱サニックス 代表取締役 佐藤 啓

私の参加した第5分科会では、文部科学省の初等中等教育局の和田哲雄課長と梶谷俊介中同協社員教育委員長、徳島同友会代表理事の(有)小田商店 小田大輔社長のパネルディスカッションによる分科会でした。

小中高校の学習指導要領の改訂に伴い、社会に開かれた教育課程の観点から中小企業も重要なパートナーに位置づけられ、持続可能な地域社会と企業経営の為には教育機関との連携が今後重要になってくるだろうということです。

それは時代の流れと共に、教える側の教師と学ぶ側の生徒自体が大きく変化してきたことに起因するからで、日本の歴史上最も授業量の多かった50代の先生からゆとり教育の世代に先生も移行してきており、人口減少や働き方改革で、部活動指導などの勤務内容・時間も大幅に変化し縮小せざるを得ない現状であるとのこと。それこそ昔の「金八先生」のような教師をもとめていたら教師のなり手はいなくなってしまうとのこと。今は子供たちが家族や大人と会話する機会が少なくなっており、語らいが減ることで

考える力、語彙、思考力が低下してしまっている。これは日常生活上しょうがない事のように。核家族化が進み、家庭や地域で大人と接せる機会が少なくなっている上に、家族で食事に来てても会話しないで、各人がスマホを操作している光景をよく見かける。IT化が進む現代では、知識は豊富になるがコミュニケーション能力が低下してくる傾向にあるとのことでした。そこで社会に開かれた教育課程の期待と可能性として、大人が子供たちと関わり未来に向けて一緒に考えることが必要となります。経営者は、企業が社員を通じてその家庭と子供たちの教育につながっており、その子供たちが地域の会社に入って地域を育む持続可能な社会になることを自覚しなければならないとのこと。学校経営も会社経営もクラス経営も同じで、リーダーシップを発揮して課題解決に取り組まないといけない。我々は、地域の学校教育に関わり、学校と連携して人を育てなければならない。人を育てることは地域の未来を育てることであるという事がわかりました。

(有)虎弘印刷所 取締役社長 飯野純一

圧倒的な参加人数と熱気で始まった全国定時総会、その後第7分科会に参加し、テーマは、「目線を変え『もの売り』から『ものづくり』へ業態開発への挑戦」と題し東京同友会豊島支部副部長の(有)ヤヘイ工販 野平和宏社長と社員の北村さんの報告でした。

始めに野平社長より、外部環境の変化で売り上げが落ち込み、どうしたらいいのか分からないまま対応に追われる日々。そんな時お客様からの相談をきっかけにひらめいたのが、お客様の困りごとを真摯に受け止め、顧客と顧客を繋ぐ自社独自のサービス分野への転換、価格競争の多いもの売りからの脱却でした。自社の強みに気付き役割を見つけ、従来の粗利益率を2倍に増やしたそうです。

社長の言葉で印象深かったのは、お客様は何を買うかで

なく、誰に何を売るかを求める「共創形企業」顧客と顧客のニーズを繋ぐのが大切である。私たちの事業定義は「加工情報発見業」である、地域に根ざし地域を底上げできる企業になる野平社長の熱意を感じ、改めて地域経営の大切さを学びました。

その後北村さんからの報告があり、違う側面より社長自身の行動が分かり、客観的に考え課題解決が出来ることを知りました。

まために広浜代表の言葉にもあったように「自社の使命感と誇り」を持って事業の継続と地域の企業連携に取り組んでいきます。



㈱南陽総建 代表取締役 石川晴久

「『何のための事業継続か』～BCP以前に問われるもの～」と題して、(有)まるみ翹本店 山辺啓三社長と(株)奥野組奥野一三社長が報告した第9分科会に参加しました。

企業は災害のみならず、突然に取引先廃業や競合先の出現、社員の退職など様々な脅威に常時さらされており、すべてのリスクに備えることはなかなか困難です。一方、同友会では経営の維持・発展は経営者の責任と言われます。まさにその通りであると感じました。どこまでを想定して、どこまでを備えるのか？何を優先し何を捨てるのか？事業継続のために本当に大切なことは何なのか？企業づくりの観点から考えさせられました。実際に水害を体験し、BCPに取り組んでいたからこそ(知っていたからこそ)初期対応から復旧までの流れをつくることができたという報告がありました。また、社員にも共有ができていたため、社員主体で初動を乗り

切れたとのこと。知っているか否かで、結果は大きく変わっていたかもしれません。グループ討論では、自社の事業を妨げるリスクはどのようなことが挙げられるか意見を申し合いました。様々な意見が上がりましたが、共通していた意見は「人」によるものでした。また、それらのリスクに対してどのように備えるかを討論しました。リスクと備えについて改めて感じる機会となりました。

本分科会で、一番強く感じたことは、事業継続は労使理解に繋がるということでした。経営者の責務として、BCPに取り組むことへの重要性を改めて感じた分科会でした。



外国人雇用学習会開催

山形大学と連携した外国人技能実習制度の活用について



7月17日、共同求人委員会主催の「外国人雇用学習会」がTISカンファレンスセンターに於いて開催されました。会員企業から25名が参加し、山形大学と連携した外国人技能実習制度の活用について学び合いました。

初めに、外国人実習生の送り出し機関である㈱マザーブレイン 代表取締役 池田浩史氏が、「ベトナムにおける実習生の動向と日本語学校の現状」と題して講演しました。

現在ベトナムでは313の送り出し機関がありそのの一つに同社があります。現地で集めた実習生に対しひらがな、カタカナ、漢字の勉強、場面会話などの教育を行い日本へ送り出しています。池田氏は「ベトナム国内で生徒を集める際、ブローカーを通じて生徒を集めるケースが多いが、これだと生徒の詳細が分からず日本で失踪してしまうケースがある。我々は日本語対応職員が直接学校で募集し、生徒の家に伺い家族にも受入れの説明を行っている点に特徴がある」と説明しました。

続いて、国内の管理団体のアクティブ協同組合 代表理事 松原崇浩氏が「外国人技能実習制度などの概要について」と題し技能実習法を中心とした説明がありました。

現在日本には平成30年末時点で約33万人が技能実習生として在留しており、松原氏は「従業員30人以下の企業の場合1年間3名、3年間で9名受入れることが出来る。これを回していくと最大で9人が常に労働力として見込むことが出来る」と人手不足の視点で外国人技能実習生受入れのメリットを述べました。

さらに松原氏は「受入れのタイプとして管理団体(事業協同組合、商工会等)を通じて受入れる「団体管理型」と企業が直接現地から受入れる「企業単独型」の2通りがあり、96.6%が団体管理型を利用している。団体管理型では、管理団体が計画通り実習が行われているか確認する訪問指導や、賃金の支払い状況や住まいが衛生的かどうか確認す

る監査が定期的に行われ、受入企業に対する指導・サポートが充実している」と語りました。

最後に「不正行為(違法行為)については技能実習法に限らず労働関係法令の違反も含まれ、罰則が強化されている。管理団体も順法の上で運営しているが受入れ先の事業所についても法律を守っていただきながら実習生を活用していただきたい」と呼びかけがありました。

続いて、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター 長谷川貴一氏が「留学生、実習生の日本語教育サポートについて」と題して講演しました。

山形大学では地域活性化には外国人実習生の受入れが重要だと考え(株)マザーブレインとアクティブ協同組合と連携しながら実習生に対する日本語教育サポートに取り組んでいます。長谷川氏は「外国人実習生の受入れで一番の課題は日本語のコミュニケーション。誰かがフォローしてあげないと地域企業一社で外国人を雇うのは難しい。マザーブレインさんでベトナム国内での実習生のサポート・育成を、アクティブ協同組合さんでは山形県内での実習生・受入企業のサポートを、大学としては日本語教育と運営サポートで連携しながら取り組んでいきたい。さらに、ここに地域の中堅・中小企業を巻き込んでいき、山形モデルとして確立し、山形に来れば日本語を覚えて帰れる、サポートがしっかりしていてよかったと言ってもらえる体制をみんなで作っていかなければならない」と連携して受入れていく重要性を述べました。

その後、質疑応答が行われ、最後に佐藤共同求人委員長より「一社だけでは外国人雇用は難しい面がある。同友会として外部機関と連携し、悩みや課題をお互いに解決しながらやっていければと考えている。今後も学習会は継続していく予定で、実際に受入れてどうだったのか、または外国人実習生にも来てもらい、満足度の高い同友会らしい技能実習制度の活用を確立していきたい」と挨拶があり閉会しました。



8月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

特別企画：パネルディスカッション ワイン&ビアパーティー

『みんなをやる気にさせるリーダーシップとは』

2019.8.28(水) 18:00~21:00

場所：レストラン・ヴァレンティノ
山形市十日町2-5-6 ☎023-642-0256

パネリスト：㈱ヤマザワ 専務取締役 木村孝氏(前職 山形銀行常務取締役)
コーディネーター：プルデンシャル生命保険㈱ 伊藤雅子氏
参加費：5,000円

山形銀行時代、着任する先々で頭取賞受賞など全店トップクラスの業績を叩き出してきた木村氏。退職後は㈱ヤマザワ 専務取締役に転身し、ふたつの長寿企業に身を置いた貴重な経験から、求められる経営者像について語って頂きます。

コーディネーターは、銀行時代の元部下の伊藤雅子氏。昔のよしみで、普段は聞けないことも聞いていただきます！さらに、今回のお話の中から10月例会にて、さらに深掘りしてお話頂く予定です。

お話の後は、美味しいワインと美味しいお料理でリフレッシュして、暑さを吹き飛ばしましょう！！他支部会員様、ゲスト様大歓迎お待ちしております。ぜひお誘いあわせの上ご参加よろしくお願ひします。

山形支部【セミナー】

第1回セミナー(ネットや本に書いてない事実) 「社長さん、何悩んでるのそんな事で？」シリーズpart1

2019.8.20(火) 18:00~21:30

場所：山形テルサ 3階 研修室A
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

懇親会：山形テルサ 1階 レストラン 20:00~

講師：(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山享氏
参加費：4,500円(懇親会費)

山形支部 2019 年度第 1 回目のセミナーは、「社長さん、何悩んでるのそんな事で？」シリーズ Part1 として、知らないあなたが損をする、経営者のための経営情報講座を開講いたします。今回は色々なテーマの中からテーマを 4 つに絞り、グループディスカッションも取り入れ、理解を深めます。ぜひお誘いあわせの上ご参加よろしくお願ひします。

庄内支部

ビアガーデンで夏の暑さを吹き飛ばそう!! ~どうゆう会社 どうゆう仕事~

2019.8.28(水) 18:30~21:00

場所：グランドエル・サン
鶴岡市東原町17-7 ☎0235-24-4633

会費：5,000円

中小企業家同友会は異業種の経営者が集まり、日々勉強し実践しています。このビアガーデンを異業種交流の場として活用し、同友会の会員企業のみならず、お互いの会社・仕事をより良く知る事で、今後の経営に活力を見いだせればと思ひ企画しました。

会員の社員様や経営者の方々から数多く参加して頂き、意味のある異業種交流会にしていきたいと思ひます。皆様の参加をお待ちしております！※ビアガーデン形式でテーブルごとに飲みながら参加者それぞれがステージに上がり、各 3 分を目安に自己紹介、近況報告、商品・サービス PR をしていただきます。(社員様・ゲスト様も同じく)

寒河江支部

目指すは量の再定義 ~ビジネスは、本質価値で決まる~

2019.8.26(月) 19:00~21:00

場所：寒河江市技術交流プラザ 2階
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(有)鏡量店 代表取締役 鏡芳昭氏

「もしも本物の量だけが使われていたら、ここまで量は減らなかったと思う」と語る鏡社長。

いよいよはじまる「量の再定義」を目指し、生産に関わり、海外へ羽ばたく現状を報告いただきます。ゲストさん、社員さんのご参加もお待ちしております！

さくらんぼ支部

働きやすい会社と職場をつくるために 何をすべきか

2019.8.22(木) 18:30~21:00

場所：まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0223

報告者：㈱アイン企画 代表取締役 松岡友路氏(山形支部)

さくらんぼ支部では会員さんの悩み・課題に沿った内容で例会を開催しています。8月例会では、「社員が働きやすい環境づくり」について考え合います。

報告者として共同求人副委員長である㈱アイン企画の松岡社長をお迎えし報告いただきます。総合企画・広告代理店の同社では離職率が高いことに悩み、人材定着率を向上させ社内に活性化させるため、社員の働きやすい環境整備に取り組みます。キャリアアップの仕組みや、マネジメントでできる人材の育成など社内改革をすすめ、新卒者などの若い社員も将来を見据え成長できる会社になっています。

松岡氏の報告から自社での職場環境改善について考え合ひましょう。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

置賜支部

経営理念の力

2019.8.26(月) 18:30~21:00

場所：アクティー米沢 会議室
米沢市西大通1-5-5

報告者：㈱井上自動車 代表取締役 井上英明氏

詳細は後日お知らせいたします。

新庄最上支部

テーマ：2019年度ビアパーティー!

2019.8.6(火) 18:30~21:00

場所：厨ダイニング
新庄市若葉町7-6 ☎0233-23-7417

会費：4,000円

毎年恒例、厨ダイニングさんでのビアパーティーのお知らせです！新庄最上支部ビアパーティーでは、通常例会では聞けないこと・話せないことなどをざっくばらんに語り合い、会員同士のつながりを深めます。

また、今年度の上半期はどうだったか？自社企業だけではなく、地域とどうやって発展していくか？など夢のあるビジョンも語り合ひましょう。お知り合ひの方々とお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

第3回理事会報告

◆日時:2019年7月10日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:後藤副代表理事
◆出席者:(敬称略)西塔、川合、菅原、後藤、志田、齋藤(志)、赤塚、阿部(秀)、石川、坂垣、越前屋、大泉、齊加、笹林、田中、服部、松岡、高橋(明)、飯野、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

川合代表理事が、7月4、5日に開催された中同協総会について触れ、「理事会でも学びを共有して山形同友会と自社の活性化につなげていきたい。中同協50周年を迎えて発行された記念誌と議案書を一読いただきたい」と語りました。

■学習会

後藤智樹理事から、物流業界の動向と自社の取り組みについて報告があり、その後参加理事との質疑応答がありました。
次回報告者:大泉拓也氏

■報告事項

- 1)日本海山形県沖地震の被害について
坂垣理事より6月18日発生の日本海山形県沖地震では、温海など一部で被害が残っているものの庄内全域としてはほとんど大きな影響がなく通常営業に戻っているとの報告がありました。
- 2)第22回女性経営者全国交流会(広島)6/13~14 5名参加
赤塚理事が広島同友会女性部の素晴らしい活動と今回の交流会で学んだことを紹介し、「女性会員の増強に取り組むと同時に各社の女性社員が能力を発揮して貢献することに目覚める、働き甲斐を見つけるという意味も女性部にはあるのではないかと考えた」と報告しました。
- 3)中同協・第51回定時総会(東京)7/4~5 13名参加
石川理事が、同友会のビジョンにSDGsが盛り込まれたことは大きな一歩と感じたこと、第9分科会「何のための事業継続か BCP以前に問われるもの」に参加し、BCPは労使見解とつながり、指針書に落とし込まれることで社員の命を考えることにもつながると提起があったことを報告しました。
- 4)中同協・第1回幹事会(東京)7/5 4名参加
川合代表理事が広浜会長より「同友会は特別かつ影響力の大きい団体となった。同友会役員はそれを理解した上で行動しよう。中同協幹事の役割として、同友会運動推進の主体者として、①高い見識とそれを基にした発言②同友会運動に対する理解と推進③同友会理念の体現が求められている」と提起があったことを報告しました。
- 5)2019年度6月次決算報告 (矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会4名 退会1名 7/10現在417名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

菅原代表理事が増強の意義について述べた後、今後の取り組みについて提案し、下記のとおり承認されました。

- ・「紹介カード」を活用し、全会員に紹介のお願いを呼び掛ける
- ・二人目会員制度の周知と呼びかけを支部幹事会から行っていく
- ・ゲストや参加が遠のいている会員の方にも新会員オリエンテーション参加のお誘いをする

議題2:2019役員研修会について

川合代表理事より提案があり、下記のとおり役割分担と討論テーマ等が決まりました。

- 1)第1講
 - 座長:後藤智樹氏 ○室長:志田清志氏
 - グループ長:川合勝芳氏、齋藤志直氏、小川大輔氏、庄司薫氏、佐藤啓氏、赤塚治美氏、齊加義三氏、越前屋忍氏
 - グループ討論テーマ:役員として何を学び、どう実践してきたか?
- 2)第2講の役割分担について
 - 座長:川合勝芳氏 ○室長:齋藤志直氏
 - グループ長:志田清志氏、菅原茂秋氏、小川大輔氏、庄司薫氏、佐藤啓氏、赤塚治美氏、齊加義三氏、越前屋忍氏

議題3:全県での学習会について

菅原代表理事より7/29のBCP学習会の参加状況の報告と今後の学習会について提案があり、下記の学習会が承認されました。

【情勢学習会(スモールサンゼミ共催)】

- 日時:8月23日(金) 17:30~20:00頃
- 会場:TISカンファレンスルームC
- 参加費:5,000円
- 講師:山口義行氏 立教大学名誉教授・中小企業サポートネットワーク(スモールサン)主宰

【技術革新の学習会「人とロボットの共生社会」】

- 講師:特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構(Robizy)メンバーシップマネージャー 佐々木剛氏
- 日程案:10月28日(月)、29日(火)18:00~

議題4:2019北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会の取り組みについて

菅原代表理事から行事概要の説明と参加の呼びかけがあり、各支部最低1名参加を原則とすることを申し合わせました。

議題5:事務局賞与の件

菅原代表理事が事務局員の夏季賞与の支給について提案し、承認されました。

議題6:親睦ゴルフコンペ会員案内の件

後藤議長より小川理事からの委任事項として、9月21日に開催する親睦ゴルフコンペを全会員へ案内することが提案され、承認されました。

■その他

- 1)8月22日に島根県立大学より山形大学とのインターンシップの取り組みを学ぶために来局
- 2)常任理事の各委員会・部会の担当が報告されました。
- 3)今後の予定


外国人技能実習生受け入れに関する学習会	7月17日(水)15:00~TISカンファレンスセンター
幹部社員研修第2講	7月17日(水)18:00~ビッグウイング
青年部主催基礎講座開講	7月22日(月)18:00同友会事務局
北海道・東北ブロック支部長・地区長交流会	7月25日(木)~26日(金)福島
北海道・東北ブロック代表者会議	7月26日(金)福島
第24期経営指針をつくる会第3講	7月27日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
中同協会員増強決起集会	8月22日(木)13:00 東京
情勢学習会(スモールサン共催)	8月23日(金)17:30~TISカンファレンスセンター
役員研修会 第1講	8月27日(月)13:00~TISカンファレンスセンター
第6回経営労働問題全国交流会	8月29日(木)~30日(金)岩手
2019年度第1回中同協経営労働委員会	8月30日(金)13:00~17:00岩手
第24期経営指針をつくる会第4講	8月31日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
中同協女性部連絡会	9月2日(月)~東京
第47回青年経営者全国交流会	9月12日(木)~13日(金)熊本
役員研修会 第2講	9月19日(木)13:00~TISカンファレンスセンター
山形大学学内合同企業説明会	9月24日(火)午後 山形大学
山形大学成果報告会	9月27日(金)午後 山形大学
第24期経営指針をつくる会第5講	9月28日(土)9:00~TISカンファレンスセンター

4)次回理事会

- 日時:8月21日(水)15:00~17:00
- 会場:同友会事務局

■閉会挨拶

菅原代表理事が中同協総会の第1分科会「日本は、地域はどうなる?」(株)日本総合研究所 藻谷氏の報告から一部抜粋して紹介し、「地元資本に目を向け地域内循環を作り出すことが必要であり、地元中小企業の問題を解決するという意味では同友会の増強こそが一丁目一番地ではないか」と述べました。



新会員紹介

◇ **宇野 諭氏**
の さとし
 (株)サンエスコムニティ 専務取締役
 電気工事、電気通信工事
 置賜支部

◇ **長 智香子氏**
ちよう ちかこ
 (有)ちようさん
 化粧品、衣料品販売
 置賜支部

◇ **豊田 正晴氏**
とよだ まさはる
 フィリップモリスジャパン(同)
 ディストリクトキーアカウントエグゼクティブ
 PM社製品のマーケティング・販促活動
 山形支部

◇ **瀬野 里佳氏**
せの りか
 (有)佑美 代表取締役
 清掃業
 さくらんぼ支部

役職変更

- (株)マルタニ 専務取締役
⇒ 代表取締役
長谷川吉之介氏(山形支部)
- (有)光陽ビッグファーム 取締役専務
⇒ 代表取締役
石川高広氏(さくらんぼ支部)

同友やまがた8月号 (2019年8月1日発行/通巻317号)



山形県中小企業家同友会

委員会だより

2019年度第1号 2019.8.1発行
山形県中小企業家同友会
山形市漆山大段 1865-5 TIS BLDG.201
TEL : 023-615-8302
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

【青年部会】

今回は、今年の4月に発足した青年部会のご紹介をしたいと思います。

参加対象は同友会会員・同友会会員企業の後継者または経営幹部で47歳以下の方。活動内容は大まかにいうと「経営基礎を学ぶ」「交流とビジネス連携」「事業承継を学ぶ」ことです。これから参加メンバーの方々の意見を取り入れながら発展していきます。

6月28日に、第1回の例会が「お互いを知ろう！」のテーマで開催。「交流とビジネス連携」の場として、参加者が自己紹介や自社PRを行う顔合わせ例会となりました。

青年部会メンバーが集い、参加者一人一人が自己紹介や自社PRなどを行いました。各人の「らしさ」あふれる語りに、大いに盛り上がった例会となりました。

また、7月22日には青年部会の企画事業である「経営者が理解すべき数値の理解」の第1回が開催され、経営者、後継者、幹部社員など、多彩な方々にご参加いただきました。講師の佐藤淳青年部会長(株)アルファ・コム代表取締役)から「自社で1000円の売上からいくら利益が出ているかわかりますか?」「ひと月あたり、一年あたりの経費を把握していますか?」「売り上げがいくら以下だと赤字ですか?」と、答えられるようになるべき3つの質問が提起された後、損益計算書を管理会計から財務会計の方式に移し替えるワークを行いました。参加者からは「社員共育に使います」「自社の決算書でやりたい」「自分で計算することで理解できた」など、自社経営や自身のスキルの学びの場になったとの声をいただきました。

次回青年部例会、企画事業共に、下記の通り決定しています。この機会にぜひご参加ください!

また、青年部会はできたばかりの組織で、これから青年部メンバーの声を踏まえて活動内容がブラッシュアップされていきます。ぜひ青年部メンバーとして、一緒に交流と学びを深めていきましょう!

今後の予定

【青年部例会】

日時：8月21日(水) 18:00~20:00 (終了後懇親会を予定)

会場：TISカンファレンスルームC(山形市漆山大段1865-53階 同友会事務局の上の階)

テーマ：自社の経営課題を抽出し共有しよう!

【企画事業第2回】

日時：8月26日(月) 18:00~20:00

会場：同友会事務局又はTISカンファレンスルーム

テーマ：お金の流れを知る 必要な利益の理解

(売上ではなく、利益の重要性を学ぶ。利益がなぜ重要なのか?利益とは何か?)

参加費：3,500円

詳細は同封の案内をご覧ください!



山形県中小企業家同友会

委員会だより

2019年度第1号 2019.8.1 発行
山形県中小企業家同友会
山形市漆山大段 1865-5 TIS BLDG.201
TEL : 023-615-8302
HP : <http://yamagata.doyu.jp/>

【食農部会】

『あなたとつくる山形フルーツワインプロジェクト 第1回目』 始動！

去る6月29日、天童市山口地区の松田農園さんにて、プレミアムさくらんぼワインの完成を目指し、その原料の収穫作業を行いました。

天童の山間にある松田さんの農園に集合。当日は大雨の予報にもかかわらず、なんと奇跡的な晴れ！事前の告知による一般応募のメンバーを含め、集まったメンバーで70kgの佐藤錦を収穫しました。木9本分の立派な佐藤錦をご用意いただき、一心不乱に収穫。

日常の多忙をしばし忘れ、目の前の木のさくらんぼをひたすらもいで完結させていく行程は、普段お疲れの経営者には結構向いているのでは？と感じてしまいました。次年度以降皆様のご参加を促すに値するかと実感・・・。

約3時間でおおよそ収穫し、待ちに待ったランチタイム。今回は初出前となる？さくらんぼ支部会員、村山市の「殿（しんがり）」さんの冷たい肉そばを特別にご用意頂きました！畑にコンテナをひっくり返し、大自然の中で頂くお蕎麦がまた格別に美味しい！参加した子供も大人も笑顔となる良い時間でした。



さて午後からはオトナの時間。いよいよワインの仕込みです。収穫したさくらんぼを東根フルーツワインさんのワイナリーに持ち込み本格的な仕込み作業のお手伝い。果実を粉碎し、発酵させる為の樽に移し、酵母を添加し、あとは約3か月後のお楽しみ！

この作業の間にワイン博士の東根フルーツワイン阿部社長よりワイン造りのレクチャーを頂けるのも大人ならではの贅沢な楽しみでした。ワイン造りは原料となる果実の糖度がとても重要だそうです。ワイン造りに於いて一般的にはアルコール度数を確保するために補糖するのですが、今回は原料の品質が非常に高く、なんと補糖無しで良いワインが出来る！との事です。これは極めて稀でその点に於いても、真にプレミアムワインとなるのではないのでしょうか！完成が待ち遠しいです！

完成したワインは、プロジェクトに出資頂いたメンバーに2本ずつお渡しすると共に、「収穫祭」と称したイベントにご参加頂きます。東根市内のイタリアンレストランにて、完成したワインを楽しみながら交流を深める会を企画しております。今から待ち遠しい限りです！



とプロジェクト紀行をお届けいたしました。実はこれは本年度、食農部会とさくらんぼ支部が連携して実践を試みているプロジェクトです。

きっかけは、同友会会員さんの共通の課題解決を同友会型の理念を以って実践して行く事で事業主体者は基より、携わる会員企業の成長にも繋がられるのではないかという思いからスタートしました。事業主体者の共通の経営課題は「販路開拓」と「事業計画」でした。互いに高品質な商品作りには自負があるにも関わらず販売面に於いての課題に直面しておりました。この課題は今回の2社のみならず多くの中小企業に当てはまるのではないのでしょうか。そこで今回、事前に“販路を確保する”という方法を画策し本プロジェクトを始動致しました。メンバー（賛同者）を事前に募集し販路（売上）を確保した上で、各工程をイベント化、可視化する事でそこに集う理由を創出し、地域の活性化にも寄与していくという仕組みを盛り込んでおります。と同時に本年度は「計画通り」という点に重点を置いて実践しております。事業主体者が事業計画書を起こし、その通りの数値（経費や利益）に帰結できるかに重点を置いております。

本年度はテストケースとして身内（同友会会員）を中心として20名限定にて実施しております。が、本年度のデータをブラッシュアップし、次年度以降規模の拡大を目指して行きたいと考えております。今年はさくらんぼの木9本が、来年50名の参加になれば木20本分必要になります。100名になれば更に増える。これにより事業主体者の課題である地域の“耕作放棄地”の減少に繋がるかもしれません。昨今急激な脅威である獣害を緩和できるかもしれません。境界が新たになり、野生動物にも良い環境になるかもしれません。

都会からの参加者を募れば“やまがた”を訪れるきっかけになるかもしれません。自然に触れる事で心と体がリフレッシュされる方が増えるかもしれません。共に体験する事で家族の絆が深まるかもしれません。それがひいては地域やみんなの幸せに繋がるかもしれません。そして自社の強みを活かした実践で企業が成長するかもしれません。

そういった思いでこのプロジェクトを実践しております。是非、皆様にもご賛同、ご参加頂けますようお願い申し上げます！こんなやり方あるんじゃない？こんな角度から切り込んだら面白いんじゃない？など経営者の知識を結集すれば精度も高く、面白い事が出来る事を是非皆さんで証明し、作り上げていきませんか！皆様のご協力、ご参加を随時お待ちしております！！

※裏面にプロジェクトのチラシを掲載しておりますのでご覧ください。

当プロジェクトへ参加希望の場合は、同友会事務局もしくは当プロジェクト窓口の東根フルーツワインさん(さくらんぼ支部会員)へご連絡をお願い致します。先着20名限定のため、定員になり次第締め切りとなります。



あなたとつくる

松田農園 & 東根
フルーツワイン

山形フルーツワイン

u・my・wine project

あなたとつくる山形フルーツワイン

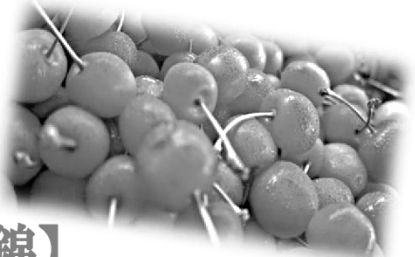
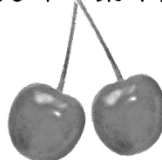
U・My・Wine Project

山形県の美味しいフルーツをそのままぎゅーっとワインにするまでの過程を通して人と人が繋がっていくプロジェクトです。作業体験をしたり、生産過程を見守ったり、交流しながら自分たちのオリジナルワインを作り上げていきます。

見守りだけ、収穫祭だけなど関わり方は自由！みなさんもオリジナルワイン造りの仲間になりませんか？



令和元年 第1回は…



完熟さくらんぼ【佐藤錦】

さくらんぼ作ります！

松田農園

寒暖差の激しい自然豊かな山間部では糖度が高い美味しいさくらんぼが育ちます。一つ一つ手作業で丁寧にチェックした新鮮で真っ赤な果実を、お客様にお届けいたします。「大切な人を笑顔にする初夏の贈り物」



さくらんぼ収穫体験 6月
山形でも珍しい完熟さくらんぼの木2本を収穫！1番おいしいところを食べてるのは、じつは農家さんなのですよ(*ノωノ)

自分たちで収穫したさくらんぼを醸造所まで搬送

ワイン造ります！

東根
フルーツワイン

繋がります！

みんなで参加
体験イベントの
ご案内

※お問い合わせ先※
合同会社東根フルーツワイン
〒999-8728 山形県東根市大字大江新田宇平林 39-1
TEL/FAX : 0237-38-9014
MAIL : fruitwine@h-fruitwine.com
URL : http://www.h-fruitwine.com/



ワイン醸造作業の一部体験

100Lタンクにさくらんぼを投入！
その後はワイン教授のワイン健康講座！



メンバー特典

- ★さくらんぼの収穫作業体験ができる！
カゴに入れる前に自分の口に入れる
なんてことも(*^^)v
- ★作業を終わってのお昼ご飯は山形名物！
山形グルメではらごしらせしめししょう♪
- ★ワイン造りの作業をお手伝い体験！
- ★収穫祭！イタリアンを食べながら、ちょっとしたシェフによるイタリアンおつまみ料理講座！
- ★自分だけのワインをつくる！
オリジナルラベルを作って、
世界に1つだけのワインに！
- ★東根温泉入浴券付きです！

「あなたとつくる山形フルーツワイン」U・May・Wine・Project

参加者の皆さまへ

「あなたとつくる山形フルーツワイン」の内容

参加者の皆様は、6月29日（土）に天童市山口地区の松田農園において、完熟のさくらんぼ「佐藤錦」の収穫を行っていただきます。完熟佐藤錦1パック（500g）をお土産として持ち帰ることができます。

その後、ワイン醸造所、東根フルーツワインに移動し、佐藤錦ワインの最初の工程、「仕込み」を行っていただきます。このコースには東根温泉の入浴券はセットになっていますので、希望者は作業終了後は、東根温泉に入浴して疲れを癒してください。佐藤錦ワインが完成するのに3ヶ月間熟成させる必要がありますので、10月中旬に東根市内のイタリアン料理店において収穫祭を行います。収穫祭では、完成した「佐藤錦ワイン」の

ご試飲を行っていただきますが、参加者の皆様は佐藤錦ワインの独自のラベルを作っていただきます。佐藤錦ワイン500ml2本を持ち帰っていただきます。収穫祭に参加できない方には発送いたします。



*会費について

1口 12,000円（佐藤錦ワイン500ml2本、佐藤錦1パック500g、東根温泉入浴券付き）

※振込手数料はご負担ください。

※ご入金のご確認が取れ次第、申し込み完了メールを送らせていただきます。

*申し込みについて：申込期限 6月20日

このプロジェクトに参加ご希望の皆様は事務局の「東根フルーツワイン」まで、お問い合わせください。今年は、先着20名とさせていただきます。

入金に関しては申し込みのご連絡をいただいた方に銀行振込についてご連絡致します。

入金のご確認が済むまで申込完了とはなりません。

*お問い合わせ先

合同会社東根フルーツワイン

〒999-3723 東根市大字大江新田字平林39-1

TEL/FAX : 0237-38-9014

MAIL : fruitwine@h-fruitwine.com



*必ずお読みください

●ご入金確認後、こちらから申し込み完了のご連絡をいたします。万が一、お振込みされてから1週間経っても連絡がない場合はお問い合わせください。●海外へのお届けは致しかねます。お届け先が離島の場合、追加分の送料をいただくことがございます。必ず事前にお問い合わせください。●お申込み後2週間経過してもご入金がない場合はキャンセルとさせていただきます。一度お支払いいただきました会費は事情にかかわらず返金できませんのであらかじめご了承ください。●お申し込みの皆様には、イベント(サクランボの収穫、ワイン醸造体験、収穫祭等)のご案内をいたします。●この事業で取得した会員様の個人情報につきましては、「あなたとつくる山形フルーツワインU・May・Wine・Project」に関する案内等に使用し、当事務局で責任をもって保管いたします。第三者に譲渡または許可なく使用することは一切ございません。